

名称案	読み方	命名理由
永光館		①洞谷山永光寺から ②これからは担う光ある人材が未永く輝くことを願っている。
越百館	こすもかん	中央アルプスの越百山（こすもやま、由来は「百の山を越えて到達することができる山」で、困難に打ち克つイメージを想起させる）とコスモス（宇宙）の両方から命名
回向館		技術や美術は、自分の努力で周囲のレベルも上げる事ができるものと解釈できるから。
輝明館		放光館は放つ光なのでそれにとまって、明るく輝く存在になって欲しいという思いを込めて輝明館にしました。
吉祥館		①施壇林が置かれたのは吉祥寺・永平寺の山号は吉祥山・めでたいを意味する吉祥 ②クリエイティブな知性によって人々の幸せに貢献してほしいという願いから。
久遠館		これからもずっと続いて欲しいから
究理館		嘗て存在した理科校舎名を復活させたいから。
薫習館		専修科案
広心館	こうしんかん	生徒各々が自分の進みたい方向へ進み、心を育むことができる校舎として「広心館」にしました。
広想館	こうそうかん	美術室や技術室などの専門的な分野を学ぶ教室があり、そこで学ぶことで色々な勉強はもちろん、それ以外のことにおいても発想を広げることができ、さらにそうすることは在学中だけではなく卒業しても役に立ち、生徒たちの様々なことに対する視野を広げ、常識にとらわれない発想ができるようになって欲しいと思ったから、
紅爐（炉）館	こうろかん	「紅爐上一点雪」より引用 赤々と燃えるような信念さえあれば、いかなる邪念も寄せつけない転じて、「爐」がもの作りやクリエイティブさをイメージさせ新校舎の名称として合うのではないのでしょうか。
耕心館		様々な経験を通じ、豊かで逞しい内面を養ってほしいという思いから。
耕田館		専修科案
行雲館		専修科案
行学館		「行学一如」から命名。ただし一如は駒大高校で使用（一如会）
参究館		「仏前に静座し、悟りを求め、真理を究明すること」。の意味を持つ参究という言葉。他の館の名称も仏教用語だったのでそれが適切だ考えた。より本質を追い求め、研鑽して獅子児が互いに成長する場所になって欲しいとおもった為。
獅吼館	ししくかん	道元禅師の『正法眼蔵 龍吟』の一節「師曰、我道、鶻雙裏有師子吼。」の「師子吼」より抜粋 獅吼館の設備を通して、獅子児が将来躍進する、則ち吼えることを願って命名
自彊館	じきょうかん	自分が興味を持ったことを心ゆくまで十分に探究できる場所であるように
自在館		とらわれを離れた自由自在な心から新たな価値は創造されるから。親自在菩薩より。
種耕館		専修科案
承陽館		總持寺にある放光堂と似た名前の放光館があるので永平寺の承陽殿から名前を取った
昇龍館		龍が登る様に飛躍する象徴となる校舎名
照星館		地球という星を明るく照らすようなクリエイティブな知性を育ててほしいという願いから。
心豊館		生徒の心(知識・感情)を刺激し、この先の人生を豊かにする教室にしたいから
進光館		進んで輝くという意味。みんなが自ら進んで輝く建物になってほしい。
進燈館		「進んで燈す」学園が勢いよく前進するように願って「進」125周年記念のキャッチコピーである伝燈の「燈」これらを組み合わせました
粹心館		粹という漢字には、気質、態度、身なりなど言動などが垢抜けている、優れている、機敏であるという意味が込められており、その心を持って勉学に励むところということから、『粹心館』と命名しました。また、新校舎には技術室など、学校の最先端の授業をする場所もあるということで、言葉遊びで『粹心』の『すいしん』という音を『推進する』という言葉にかけました。
正法館		①「正しい教え」と「正法眼蔵」を連想させる ②仏教で正しい教えという意味だから。
静心館		①戦前の坐禅サークル「静心会」からの命名 ②自習室や図書館などが新しくなることに伴い、心を落ち着かせて勉強できる場になるといいなという思いから命名しました
先進館		先進的な教養をする場だから
専心館		専門的な施設だから。
洗心館		専修科案
全機館		持てる機能（はたらき）を余すところなく生き生きと発揮して、新たな価値を創造してほしいという願いから。
創叡館		獅子児の叡智を創り出し、深めるところ。
創祥館		クリエイティブな知性によって人々の幸せな生活を創造してほしいという願いから。
創心館		創心という言葉は、思いや徳を生む心という意味を持っており、新しくlaboが設置される新校舎に、社会を創る、徳の心がある人を送り出すという意味を込めることができると思います。
創新館		新たな価値を創造してほしいという願いから（温故知新→温故創新）。
創世館		この世の中を創りあげる人材の育成を目指すという意味で。
創成館	そうじょうかん そうせいかん	①創造したものを実際に生み出す、つまり成るものにして欲しいから。 ②初めて具体的に形を成すこと（クリエイティブな思想に一致する）また、創成館で学ぶ生徒が、新しい自分の力を実らせることができるように名前をつけた。 ③専門的な施設ということなので、個人個人が興味のある「もの」「こと」をいかすことのできる施設となると思う。なので、自分の手で未来を創り自分が築き上げたい未来を成すという意味をこめたため。
創生館		新たな発想こそが、新たな創造を生み出す
創谷館	そうこくかん	創造（創）と世田谷（谷）を組み合わせ、新しい学びの創造を表現しています。
想創館		想像力と創造力を育む校舎であってほしいという願いから。
知錬館		錬心館よりこっちのほうがしっくりきたから。
智究館	ちきゅうかん	物事を理解することや理解する能力を表す『智』を、この世界の真理や本質をつかむために、みな切磋琢磨して推し進めることのできる場所になって欲しいからです。読み方は【地球】とも兼ねています。

智慧館	ちけいかん	「事の道理をわきまえ、正しく判断する心のはたらき」や「単なる学問的知識や頭の良さではなく、人格の完成を俟って初めて得られる、人生の目的・物事の根本の相にかかわる深い知識。」を表す言葉であり、ただ知識を身につけるのでは無く実践にかせるクリエイティブな知性を高めるという校舎の目的にあっていると考えたため。 参考「スーパー大辞林 「智慧」 」
智證館		専修科案
直心館		直心是道場、という禅の用語からです。クリエイティブなものは、ひたむきでまっすぐな心からこそ、生まれると考えての命名です。
伝燈館		専修科案
日新館		常に新たな心で、新たな目線で物事に向き合っていくことは創造につながるのではないかと思います、この言葉を選んだ。「とらわれない心で新しい日を迎えるならば、この世界は全て新しい。新たな気持ちで自分や世界を見つめれば、可能性は無限大である。」
白雲館		①第6代安藤文英校長（100年前、創立25周年の時の校長）の揮毫「白雲無心」から命名 ②白雲心（雲のように何ものにもとらわれない自由闊達な心）から新たな価値は創造されるから。
函谷館		教養のあるユーモアなワードチョイスだから。
普門館		広く衆生に救いの門を開くような校舎になることを願い、また大日如来そのものを指す言葉でもあることから名付けました。
副学館		副教科を学ぶ場所だから
無尽館		技術・美術やメディアといった芸術を尽きることなく広く学んでほしいという思いを込めてつけました。
遊学館		遊びも学びも両立できるように
遊空館		とらわれない世界（空）を自在にめぐる（遊）ところに、新たな価値は創造されるから。
旃檀館		極めてオーソドックス。旃檀林から命名。
洗心館		水のように自由な状態で将来や選択を自分たちで決めて欲しいから
黎明館		①先進的な新しいアイデアを育む場として黎明と付けました。 ②世田谷学園の設備の大々的な改革において、黎明が持つ「新しい事柄が始まる」という意味にマッチしている。心機一転新たなインスピレーションを生む場として名付けた。

選考基準

- ・125周年記念事業運営委員会（本部）のメンバーそれぞれが10案程度選出、その集計結果をまとめたものが一次審査突破案といたしました。
 - ・専修科内においても同様の投票を行い、得票数の多かった上位10案を専修科推薦案としました。
- ※命名理由にある「専修科案」とは、以前の会議において専修科から提出した名称案のことになります。